

守ろう 『いのち』

台風や大雨に備える

すべては日ごろの備えから

台風や大雨で恐ろしいのは、強風と集中豪雨です。その破壊力は、時に想像を超えることがあります。

昨年9月の台風12号では、養父市においても市内13区に避難勧告が発令され、394戸873人が避難したほか、住宅の床上浸水2件、床下浸水30件などの被害が発生しました。

日ごろからの「心」と「物」の準備が、突然やってくる災害から身を守ることにつながります。災害から身を守るために一人ひとりが防災の意識を高めて、災害に備えましょう。

災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助・共助・公助」の連携が大切だと言われています。

①自助

自分の身は自分で守る。

②共助

地域社会の中で助け合う。

③公助

行政機関などが地域を守る。

個人、地域、行政などが連携し、災害に備えることが「災害に強い地域づくり」につながります。

台風が来る前に

台風や大雨は、地震と異なり、時期や規模をテレビやラジオなどの情報で事前に予測することができます。大雨や台風が近づいてきたら、早めの安全対策が必要です。気象情報をこまめに確認し災害に備えましょう。

家の中の備え

■風で飛ばされそうな物は固定したり、家の中に収納する。

家の中の備え

■室内からの安全対策
窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ったり、カーテンやブラインドを下ろしておく。

■水の確保
断水に備えて飲料水を確保し、生活用水を浴槽に貯めておく。

家の中の備え

■窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。

■側溝や排水溝は水はけを良くしておく。

準備していますか？ 非常持ち出し袋

万一の時のため、一つの袋に入れてすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・予備の電池
- ・ろうそく
- ・雨ガッパ
- ・ビニールシート
- ・ロープ
- ・ライター、マッチ
- ・衣類
- ・非常食、飲料水
- ・ごみ袋
- ・トイレットペーパー
- ・常備薬、救急薬品
- ・貴重品
- ・筆記用具など

いち早く防災情報を入手して、適切な行動を・・・

○テレビやラジオ

警報や注意報の発表状況をテレビやラジオで確認してください。

養父市ケーブルテレビビジョンでは、災害の状況に応じ、市民の皆さまに適切な情報をお伝えします。

○携帯電話

携帯電話のメール機能を活用し、防災情報入手することができますので、下記の情報サイトをご利用ください。

避難勧告などの発令基準

養父市では、土砂災害の可能性や河川の水位上昇など危険が予測される地域の皆さんに対し、避難のための情報を発令します。

弱

①避難準備
：いつでも避難できるように準備してください。

②避難勧告

：自宅付近の状況や必要に応じて、自身の安全を確保しながら避難してください。

発令の拘束力

③避難指示

：速やかに、自身の安全を確保しながら避難してください。

強

緊急情報を配信！ メールで防災情報を入手しましょう。

登録すれば、気象情報や養父市の避難状況、または、大雨などに関する警報注意報などが配信されます。まずは、アクセスして登録手続きをお願いします。登録方法について詳しくは、市役所総務課防災担当へお問い合わせください。(☎ 662 - 3161)

	アドレスを直接入力する場合	QRコードによる認識をする場合
『やぶ市防災ネット』 (配信元=養父市)	yabu@bosai.net 宛に空メール送信 (主な内容) 市役所からの避難情報や気象警報などの緊急情報	
『T A J I M A 防災』 (配信元=豊岡河川国道事務所)	http://maruyamar9-bosai.go.jp/ にアクセスする。 (主な内容) 警報や注意報の気象情報や河川の水位情報など	

※ QRコードによる認識をする場合・・・QRコード読み取り機能が付いたカメラ付き携帯電話からは、上記のコードを読み取るとアクセスできます。

地域みんなで参加しよう！

9月2日(日)は養父市一斉避難訓練！

午前10時に訓練開始

※区によっては、実施日が異なることがあります。

「地域で協力して、地域住民の命を守る」を目的に各区で避難訓練を実施します。避難訓練のほかにも、消火器の使用訓練や地区内危険場所の点検など地域で工夫を凝らした訓練が行われます。

普段から十分な備えをしておけば、被害を最小限に抑えることができます。災害が発生したときに適切な行動がとれるように、家族そろって訓練への参加をお願いします。



■お問い合わせ／企画総務部総務課 (☎ 662 - 3161)